



ロザリオの声

赤波江 豊神父

私が神学生の時でした。たしか春休みで家に帰省していた時のことです。ある日は朝寝坊をしていたのですが(その時私は家の2階で寝ていました)ふとんの中でふと目を覚ますと1階にいる両親の話し声が聞こえるのです。何かひそひそと話しているようです。何を話しているのだろう。別に盗み聞きするつもりはなかったのですが、何気なく聞いているとそれはなんとロザリオの声だったのです。両親が朝の祈りのなかで一緒にロザリオを唱えていたのです。「めでたし聖寵満ちみてるマリア・・・今も臨終のときもわれらのために祈りたまえ」(もちろん当時は文語体で)この祈りがふとんの中にいる私の耳から心の底に静かに響いてきました。そして同時に誰か他の声が私に語りかけるような気がしました。それは「誰かが自分のために祈っている」という声でした。その時両親が誰のために祈っていたのかは知りません。もしかしたら私が早く司祭になるよう祈っていたのかもしれない。

時々聖堂で静かにロザリオの祈りをしている人の姿を見かけます。そのような人たちが誰のために祈っているのかは知りません。しかしそのような人たちの後ろ姿を見るたびごとに神学生の時聞いた、「誰かが自分のために祈っている」という声が私の中に再びくり返されるのです。「誰かが自分のために祈っている」この声の主が聖母マリアを通して皆さんの心にも語りかけてくださいますように。

カトリック教会では伝統的に10月をロザリオの月としてきました。今月私たちはこの教会の霊的遺産であるロザリオの祈りの意味を今天国で聖母マリアと共におられる教皇ヨハネ・パウロ2世と共に考えてみましょう。

「私自身も、ロザリオを頻繁に唱えることをしばしば奨励してきました。ロザリオは、私がかいときから、私の霊的生活において重要な位置を占めていました・・・ロザリオは、喜びの時も苦しみの時も私と共にありました。私はあらゆる懸案をこの祈りに託してきました。ロザリオのうちに私は常に慰めを見出してきたのです・・・私たちはロザリオのそれぞれの連を唱えることによって個人、家族、国、教会そして全人類の生涯に起こるすべての出来事をつまり私達一人一人のことがらや、私たちの隣人、特に私たちと親しい隣人、心にかかる隣人のことがらを心に納めることができます。このようにしてロザリオの単純な祈りは人生のリズムを刻むのです。」(教皇様の使徒的書簡・おとめマリアのロザリオ5～6頁)

日時： 2009年9月20日(日) 11:00～13:30

場所： 第二会議室

出席者： 赤波江神父・評議会委員16名、(行事委員会、柏村・カスティーヨ、川村)

黒田議長より今月度は下記テーマを中心に検討する旨の説明がありました。

- 1、至近的な行事の打合せと委員会の報告
- 2、各チームの近況報告と今後の展望と問題点

そのため カスティーヨ氏、柏村氏(ミラグロス) 川村氏(HP委員会)に出席要請。

議題

- 1、はじめの祈り 赤波江神父様
- 2、司祭のお話 赤波江神父様

今週は敬老の日がありますが、先週の日曜日にこの教会でも敬老の集いをしました。繰り返すようですが私は「敬老」というとらえ方を考え直してみもいいかなと思います。私が子供の頃は70歳と聞くとずいぶん年寄というイメージがありましたが、今は70歳を過ぎた人が生き生きと元気にやっているのを見ると、若い人が老人をただ敬うというだけでなく、また年寄りだから大切にされる、尊敬されるというとらえ方だけではなく、新しい証をする時としてとらえる必要があります。

私達には人生を通じていつでも出来ることとその時にしか出来ないということがあります。少年期にはその時にしか出来ないこと、青年期にも、壮年期にも同じことが言えます。そして歳を重ねた老年期にしか出来ない証しがあります。

ですからこれらの人生の段階を通して敬老の「敬」を「恵」に見直し、仕事を退いた人たちが教会の為に働きたいという満ち溢れたエネルギーを“恵の証し”として、若い人たちへの世代に繋いでゆくのがふさわしいと思います。

3、議題

*至近の行事について(報告含む)

セニョール・デ・ロス・ミラグロス カスティーヨ氏、柏村氏
住吉教会ホームページ管理運営委員会 報告・ホームページ委員長
住吉教会バザー
教会学校キャンプ
中高生巡礼
以下略

以上

《 広報チームから 》

広報チーム長

いつも広報チームにご協力ありがとうございます。

しばらく休眠していました教会のホームページは評議会新体制の下、ホームページ委員会が発足、再出発致しました。インターネットで瞬時に世界中に流れ、あらゆる国で誰でも見られるホームページは、教会内と近隣での限られた方を対象にしている働きとは異なり、世の中の流れに乗りこれから大きな力を持つ宣教、広報活動になっていくでしょう。なお委員会では下記の件が確認されています。

住吉教会ホームページの目的

- a・宣教を支え、教会活動関連の情報提供で、信徒の便宜を図る。
- b・教会に来るきっかけとなる魅力ある情報を提供。

信徒には手軽に教会の最新の情報、蓄積情報を提供。

対象とする読者

- a・教会に興味を持つ一般の方。 b・教会によく来られる信徒。
- c・教会にめったに来られない信徒。

管理

- a・掲載基準・一般、全信徒向けを優先、一部スタッフ向け情報は不掲載。
- b・個人情報流出防止に留意。

個人の氏名、個人と判明する写真等は、原則不掲載

広報誌「すみよし」から個人的文章を転載する時は必ず本人許可を得る。

- c・更新頻度・随時、ニュースとしての掲載はそのつど。

上記の活動に触発されながら、チームメンバーは退化していく能力に逆らい、現状維持を保ちながらの日進月歩を夢み、少しずつ頑張り、自分の出来るところで仕事を分担。各々工夫しながら、助け合いながら、責任を持って働いています。

(昨年より新メンバーとして若い丁稚さんが…！チームは水を得た魚のように生き生きとしてきました。感謝！！)

神戸地区広報誌「つながり」作成の為に…2名

ホームページ委員として…2名

図書の本籍購入や管理…3名

教会案内作成、教会学校の記事、楽しいページ作成…1名

会計、教会アルバム整理、クリスマスウエルカム・カード作成、英訳…1名

内外の掲示板の管理、ポスター、ちらし、お知らせ、印刷物の管理、印刷機、コピー機の管理と用紙、備品の補充等雑用係り…1名

行事の写真撮影…1名+

広報誌「すみよし」編集長…1名+ 毎回全員参加

ホールに、「カトリック生活」、「カトリック新聞」、「大阪教区時報」、「心のともしび」「近隣教会からの月報や活動報告」「つながり」「その他各所からの印刷物」をまとめて置いています。又、最近のバックナンバーも横の棚のプラスチックケースに保管しています。ご覧下さい。

年3回、(イースター、被昇天、クリスマス)に発行される広報誌「すみよし」は40ページほどの薄い冊子です。かつては週報「風」、今は月報「風」がリアルタイムな話題を提供しながら充実した内容で出されています。チームでは過去何度か「すみよし」の存在価値や発行目的を話し合いました。(近隣の他教会では月報が大半。このような形での定期的な冊子はありません。)

震災までは(熱意溢れる先輩達は、少しでも費用がまかなえるようにと広告主を募り、ご協力をお願いし)外注で印刷、製本していました。震災年のイースター号は、チーム員が全員被災者、とても発行など考えられませんでした。その時、メンバー外のk氏が「このような時の記録こそ残しておくべきだ」と手作りで震災号を発行して下さいました。そして私たちを叱咤激励!!! この号を参考にさせていただいて費用を殆んどかけずに手作りしよう…今まで先輩達が残して下さいましたように、教会の歴史を文章や写真にして残しておきたい。それを自分たちの手でやれるのは素晴らしい事ではないか…それからは、ワープロ練習に励み 時代にそってパソコンにチェンジ。少しでも読んでいただき易いようにと全員で試行錯誤しながら、記録誌として、震災後の住吉教会の再生への歩みを紙面に刻んできたと思います。一度も途切れることなく、毎回全員でページを作りながら今に至っています。

洗礼、結婚式、初聖体、教会学校の活動、教会の行事などは写真と共に。又神父様方のその時々のお言葉は(お忙しい中、皆さんの為にと書いてくださった)宝。

聖句はどのようなお気持ちで選ばれたのでしょうか…あの方が逝かれたのは ×年だったのか、今も私たちを見守って下さいますように…

ゆっくりした時間がおありになる時、又、現在の紙面の花形である子供達が大きくなって「すみよし」をふと手にした時、なつかしく思って読んでくださればと願っています。そして、これらの働きが少しでも皆様の潤滑油になれば…それはメンバーの喜びです。

初版からのバックナンバーが2階の図書コーナーに揃っています。ゆったりとした椅子も用意されていますのでどうぞご覧下さい。

なお広報チームにご意見、ご提案等がございましたらメンバーにお伝えください。新メンバーも大歓迎です。

今月は広報チームにお願いしました。広報の仕事はかなり広範囲で、しかもこれからは対外的にも、対内的にもますます重要な役割になってきます。皆さんご参加下さい。ますます充実していけるよう祈っています。(議長)

新型インフルエンザの現状

・今年 4 月、メキシコで豚インフルエンザ H1N1 が発症。全世界に感染者が拡がり、日本では、5 / 16 神戸で国内で初めての患者が出て大騒ぎになりました。しかし、その後収束したように皆さんは思われていたかもしれませんが、現在、全国各地で患者の集団感染の報告が続いています。

・涼しくなって空気が乾燥してくる時期になると、ウイルスは活発に空気中に飛びやすくなり、今の流行はまだ「くすぶり流行」で、火事にたとえれば、まだ「ボヤ」の状態です。「ボヤ」なら消すことは可能ですが、この度の新型インフルエンザは誰もこのウイルスの抗体がないため、大流行が予想され、厚生省は 9 月末に、日本国内では新型インフルエンザ患者さんが 70 ~ 80 万 / 日発症するであろうと発表しています。このような状態が 1 ~ 2 年は続きます。

、新型インフルエンザへの対策

- ・基本的には
 - ・ 飛沫感染予防対策
 - ・ 接触感染予防対策

ウイルスは粘膜から身体に侵入してきます。手で目や鼻を触れたり、手で食物を口にいれたりするとウイルスが侵入してきます。ですから、口と手が予防のポイントになります。ウイルスを吸い込むことで、気道からも侵入します。それ以外は個人個人の免疫力です。

1) 個人としての取り組み

- ・ 丁寧な石けんでの手洗い
- ・ うがい
- ・ 普段より睡眠を十分にとり、食事も偏食をせず、体調を整えておく
- ・ 人混みはさけること

2) 教会での取り組み

今年 4 月末、新型インフルエンザの発生を受けて大阪大司教区の池長大司教様から各教会に次のような三点の指示が出されました。

- ・ 聖水盤の聖水は使用しない。
- ・ 平和の挨拶の時など、握手、抱擁は行わず一礼するにとどめる。
- ・ 聖体拝領は手で受けて、口でご聖体をうけないこと。

教会は大勢の方々が集まる所です。この神聖な場にウイルスを持ち込まないようにどうすればいいのか、そしてちょっとした不注意が、ほかの人に大きな迷惑を掛けることもあることをもう一度皆様一人ひとり真剣に考えてみましょう。

先ず

まず教会に来られる前に、家で手を石けんできれいに洗い、うがいをして来て下さい。

教会に来られるまでに人混みを通られたり、手で何かを触られたなら、御聖堂に入られる前に、もう一度洗面場で手を洗い、口をゆすいで下さい。入口に消毒液も用意しておりますが、皆様御存知のように、入荷が困難になっておりますので大切にお使い下さい。

教会には「聖歌集と典礼聖歌」が備わっていますが、出来ることなら皆様のご自宅のものを持参されてはいかがでしょうか。

もし咳、鼻水、発熱などあらわれる方、あるいは、家族の方などにインフルエンザが疑われている風邪の方がおられる方は、自宅でのお祈りをお願いいたします。

、その他

* 新型インフルエンザの症状

季節性インフルエンザと大きな症状の違いはないように思われるが、呼吸器系に感染すると重症化する場合があります。

* 典型的なインフルエンザの症状

- ・ 潜伏期間： 1～7日
- ・ 発症： 1～3日
- ・ 急に寒気、発熱(38～39)
- ・ 風邪症状 (喉の痛み、咳、鼻水)
- ・ 頭痛、下痢、筋肉痛、関節痛、全身倦怠感

インフルエンザウイルスは電子顕微鏡でやっと見つかる程の小さな小さな微生物です。生きた細胞の中でしか増殖することが出来ません。そして恐ろしいのは、爆発的に増殖し、次々に変異(姿を変え)してゆきます。今は、それ程強い毒性はないと云われており、若い人を中心に流行が続いていますが、いつから強い毒性のものに変わるかまったく分かっておりません。それに、毎年流行する季節性のインフルエンザが重なった場合どうなるのか、予想も出来ません。 妊娠されている方、小さな子供さん、慢性の病気(特に肺の病気・糖尿病・腎臓の病気など)の方は特に注意が必要です。 皆様各自一人ひとりのインフルエンザへの取り組みが大切です。

(上記は、9月20日(日)の主日ミサのお知らせでの、谷尻仁様のお話を原稿と許可を頂き掲載しました。)

「いろいろなお知らせ」

1、大阪大司教区関係

新型インフルエンザ感染予防対策

- ・ 8月19日に教区大司教通達(5/1、5/16、5/21付三通達と同じ)が出されました。その内容は5月の三通達と同じです。住吉教会では8月28日(日)の主日のミサから実施しました。概略は下記の通りです
- * 聖水の使用を控える * 平和の挨拶時、握手や抱擁をしない。 * 聖体拝領は手で行い、口から受けない
- ・ 聖堂外では * 手洗いを15秒以上行う * うがいの励行 * 消毒液で15秒以上消毒する。これらを実施する。

佐用プロジェクト9月9日開始 (9月1日付 教区事務局長通達)

* 佐用で被害を受けた建物への支援 * 佐用の被害を受けた地域復興への支援、の2種類あり。

* 住吉教会での献金に補充し9月9日に支援送金した。

住吉信徒の皆様のご協力に感謝します。佐用教会から感謝状が来ています。(掲示板に掲載している)

2、神戸地区宣教司牧評議会(9月6日)(於中央) / 神戸地区養成委員会

* 病者訪問聖体奉仕者養成研修 7月18日 9月12日に実施された。

* 集会祭儀司式者リフレッシュ研修・2009年11月3日(火)全員受講必要。於六甲教会(松村神父講義)

3、住吉教会関係

星の園幼稚園運動会 10月10日(土)9:15～(雨天予備日10月12日(月))皆様見に来てね。

バザー10月18日(日) ミサからバザーが始まる。全員参加、全員手伝い。お願いします。

結婚式、10月24日(土)10:00

セニョール・デ・ロス・ミラグロス 10月25日(日)10:00バイリンガルミサ、11:00 聖行列。皆様参加乞う。